

主な事業 × ライフステージ（タタキ台案）

【凡例：◎中心となる対象者 ○対象者】

基本 施策	主な事業（例） ※現行計画の事業名をもとに、次期計画にむけた事業名案と して記載しています。	事業の概要 ※現計画の概要を記載しています。	ライフステージ					備考
			乳幼児期	学童期 思春期	青壮年期	中年期	高齢期	
1 運動・身体活動の促進 【身体】								
	1-1 体力の見える化事業	現計画【3-2 おとなの体力 up 事業】 体力測定会を開催し自分の現状の体力・運動機能を知る。自分に合った効果的な運動の仕方がわかることで、運動に興味を持ち、継続した運動習慣となることを期待する。また、町事業や町内のスポーツ団体、運動グループを紹介することにより、様々なライフスタイルに合わせた運動方法を選択できるようになる。 文科省「新体力テスト」			◎	◎	○	
	1-2 「みんなでラジオ体操しませんか？」	現計画【4-2 1日1体操！】 多くの人々がすでに知っている体操【ラジオ体操】を活用し、町民が体操に取り組みやすい環境づくりを推進する。推進にあたっては、地域の会場（公園や広場など）において、中年期のみならず、子どもから高齢者まで広く地域ぐるみで体操を行う体操会を開催する。		○	○	◎	○	
	1-3 なかい体操サポーター養成講座	現計画【4-2 1日1体操！】 運動をはじめのきっかけをつくり、運動を続けるために必要な知識・技術を身につけ、地域の健康づくり活動の支援者となる「なかい体操サポーター」の養成を実施する。			○	◎	○	
	1-4 ウォーキング事業	現計画【4-1 働き盛りのウォーキングのすすめ】 手軽に取り組めるウォーキングを効果的かつ安全に実施してもらうための基礎編。働く世代の方が参加しやすいよう土曜日または日曜日に開催する。 日常生活の中でウォーキングが継続できるようにするきっかけや励みとするための記録用紙の配布と活用促進。			○	◎	○	
2 ストレス等の解消・休養 【心】								
	2-1 こころの健康づくり 健康相談・啓発	現計画【3-4 働く世代のこころの健康づくり】 疲労度やストレスの状態に気付き、早めに対処できる機会を作るきっかけとして、『1分でできるストレスチェック』を作成。HP 掲載や様々な機会に送付・配布し、啓発と活用促進を図る。			◎	◎		
		現計画【3-4 働く世代のこころの健康づくり】相談 ストレスチェックをきっかけに、こころの健康に関する相談および受診勧奨や福祉関係者等へつなぐ。本人だけでなく、その家族にも対応。			◎	◎	○	
	2-2 育児相談	現計画【1-1 親子が集う交流の場「わきあいひろば」の利用促進・活用】 子どもの遊び場を提供するとともに、親子が地域で友達作りができるよう支援し、子育て中の保護者の精神的ストレスの軽減を図る。	○		◎			子育て世代
	2-3							

